

平成26年度

さいたま市優秀教職員の紹介

教職員課

今年度、さいたま市優秀教職員として8名が選ばれ、平成26年12月25日に、大谷幸男教育委員会委員長から表彰状が授与された。さいたま市優秀教職員表彰制度の目的は、教職員としての資質に優れ、模範的であり、学校教育における教育実践等に顕著な成果を上げている教職員を表彰し、広く周知することで、さいたま市の教職員の意欲及び資質能力の向上に資することにある。

今後、優秀教職員は「授業の達人」と銘打って、それぞれの分野において授業や教育実践等を広く公開する。一人でも多くの教職員がこの授業公開等に参加し、優れた教育実践を参考にしてほしい。

1 針ヶ谷小学校 教諭 中村 敦子

本教諭は、学年主任として、授業の進め方や児童の褒め方・見取り方などについて、常に連絡・相談を行い、共通理解を図ることで、若い教員が安心して学級運営できるように努め、まとまりのある学年集団をつくっている。また、若い教員一人ひとりの持ち味を生かした授業方法を学年で紹介し合うことで、授業力向上を図っている。

2 大宮小学校 養護教諭 松橋 喜代子

本教諭は、養護教諭として、歯科保健の授業や性に関する授業を全学年全学級で実践し、校内の学校保健に関する授業を充実させている。また、学校保健委員会等において、保護者や地域の方に保健活動の実践を積極的に発表している。さらに、児童理解に基づく教育相談や生徒指導、教職員に対する助言等にも力を発揮している。

3 植水小学校 養護教諭 菊池 良子

本教諭は、養護教諭として、計画的な健康教育の推進に努め、教職員との連携を図りながら、保健指導の工夫改善に取り組んでいる。児童の実態を把握する、児童歯科健康ファイルを作成し、一人ひとりの健康ファイルにコメントを記入するなど、きめ細やかな個別指導と児童の健康づくりを推進している。

4 東宮下小学校 教諭 堀内 千佳子

本教諭は、特別支援教育に尽力し、一人ひとりの児童の実態を丁寧に見取り、その子に合った教材教具を研究することで、きめ細やかな配慮のもと、よりよい指導を実践している。また、特別支援教育コーディネーターとして、校内の特別支援教育推進のために特別支援学校等と連携することにより、積極的に職責を果たしている。

5 美園小学校 教諭 下山 麻貴

本教諭は、学年主任として、他の教員を牽引し、適切な学年経営を行っている。教科ごとの指導方法等について学年会で細かく相談し合い、質の高い教育活動を展開している。若手教員に対し、教員としての基礎・基本や指導方法、保護者対応に至るまで、適切に助言し、育成に努めている。

6 大成中学校 教諭 豊田 純子

本教諭は、美術科の指導において、表現する喜びを生徒に味わせるとともに、市教育委員会の教科指導員や、資料作成委員を務め、市内美術科の教員の指導力向上に貢献している。また、教育相談では、校内のケース会議を開催し、積極的に課題解決に努めている。

7 植竹中学校 教諭 玉川 敏史

本教諭は、生徒指導主任として、落ち着いた学校づくりのための生徒指導上の課題を明確に示し、他の教員に課題解決の方策や対応方法を明快に指導、助言している。また、生徒指導上の様々な課題や困難を乗り越えてきた経験について他の教員に助言し、校内の生徒指導を牽引している。

8 大砂土中学校 教諭 瀧山 聡美

本教諭は、国語科の学習指導において、生徒一人ひとりの能力を伸ばすため個に応じた教材を提示し、生徒の学習意欲の高揚と学力向上に努めている。また、ユニバーサルデザインの視点からICTを活用し、魅力あふれる、分かりやすい授業を展開している。



後列: 優秀教職員 (左から)

瀧山 聡美 教諭 玉川 敏史 教諭 豊田 純子 教諭 下山 麻貴 教諭 堀内 千佳子 教諭
菊池 良子 養護教諭 松橋 喜代子 養護教諭 中村 敦子 教諭

前列: 教育委員 (左から)

稲葉 康久 教育長 平澤 奈古 委員 荻野 洋 委員 大谷 幸男 委員長 五十嵐 千代 委員 石田 有世 委員